ESET Full Disk Encryption オンラインヘルプ補足資料

第 1.11 版

■改訂履歴

版数	改訂日	改訂内容
1.1	2022/2/22	「ESET Full Disk Encryption(以降、EFDE)for Mac」
		及び「ESET Encryption Recovery Media Creator」の非
		サポートとオフラインライセンスに関して ESET
		Business Account(以降、EBA)に関する内容を追記
1.2	2022/3/17	ESET License Administrator(以降、ELA)終了に伴い、
		オフラインライセンスに関して ELA に関する内容を削
		除。注意事項の「サービスを購入する方法」で EBA を
		使用しない旨の記載を削除
1.3	2023/7/1	管理コンソールの要件に ESET PROTECT(以降、
		EP)10.0 を追加、EP8.0 の削除
1.4	2023/11/17	管理コンソールの要件に EP10.1 を追加、EP8.1 の削除
1.5	2024/2/2	管理コンソールの要件に EP11.0 を追加、サポート OS
		の windows8.1 以下は EFDE v1.3 のみに修正。
		EP の名称を ESET PROTECT on-prem(以降、EPO)
		に変更
1.6	2024/4/19	EFDE v1.4 の GUI 変更に伴い
		「2.EFDE クライアントの画面構成」を修正
1.7	2024/10/22	EFDE v2.0 からの 32bit 版の非サポートに伴い、サポー
		トしている旧バージョンとの区別、オフラインライセン
		スの記載の個所で ESET PROTECT Hub(以降、
		EPH)を追加。
		シングルサインオンに関する記述を追加、およびオンラ
		インヘルプの内容変更に伴い、参照する項目名の変更。
1.8	2024/12/24	管理コンソールの要件から EPO9.1 の削除、サポート
		OS から Windows8.1 の削除、ESET Encryption
		Recovery Media Creator のサポートに伴い、「ESET
		Encryption Recovery Media Creator」の非サポートの削
		除および「3.トラブルシューティング」を修正
1.9	2025/1/6	改訂履歴の挿入
1.10	2025/2/19	管理コンソールの要件に EPO12.0 を追加。オールイン
		ワンインストーラーの作成方法を EPO12.0 での手順に
		修正。プリブート認証画面の旧画像を差し替え

1.11	2025/6/18	管理コンソールの要件から EPO10.0 を削除	
------	-----------	--------------------------	--

■本書について

○ 本資料は、EFDE のオンラインヘルプの内容を補完する位置づけの資料です。EFDE を 使用する際には、下記オンラインヘルプも併せて参照ください。

https://help.eset.com/efde/ja-JP/

- 本資料には、EFDE の管理製品である EPO の基本的な機能や用語に関する説明はあり ません。EPO の基本的な機能や用語については、EPO のマニュアルやオンラインヘル プを参照ください。
- ○本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに搭載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また本資料の内容は、改訂などにより予告なく変更することがあります。
- 本資料の著作権は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社に帰属します。本資料の 一部または全部を無断で複写、複製、改変することはその形態を問わず、禁じます。
- ESET、ESET Endpoint Security、ESET Full Disk Encryption、ESET PROTECT は ESET,spol. s. r. o.の商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における 登録商標または商標です。
- Mac は、米国及びその他の国で登録されている Apple Inc.の商標です。

■注意事項

オンラインヘルプの注意事項を以下に記載します。 オンラインヘルプに記載されている内容と異なる場合、本資料に記載された内容を正と します。

[要件とサポート対象の製品]

○ 日本では以下のオペレーティングシステムがサポートされます。

OS	
Windows 10 (X)	
Windows 11	
※32bit 版の OS は EFDE2.0 以降ではサポートされませ	±λ

○ 管理コンソールの要件は、以下になります。

管理コンソール
ESET PROTECT on-prem 10.1
ESET PROTECT on-prem 11.0
ESET PROTECT on-prem 11.1
ESET PROTECT on-prem 12.0
ESET PROTECT

- サポートされている言語は、日本語(日本)になります。
- スクリーンキーボードはサポートしていません。

[EFDE for Mac]

 \bigcirc EFDE for Mac はサポートしていません。

[シングルサインオン]

- Microsoft Azure ドメインはサポートしていません。
- 標準の Windows ログインパスワードのみをサポートしています (Windows Hello、 PIN、または Microsoft アカウントはサポートしていません)。

[サービスを購入する方法]

○ サポートへ問い合わせをする場合、「お問い合わせ」に記載のリンクページではなくユ ーザーズサイトの「サポート情報」の欄を参照してください。

目次

1 導入手順	7
1.1 ライセンスの登録	7
1.2 ポリシーの設定	9
1.3 EFDE クライアントのインストール	12
1.3.1 オールインワンインストーラーを使用したインストール	12
1.3.2 暗号化の有効化ウィザードを使用したインストール	24
2 EFDE クライアントの画面構成	26
3 トラブルシューティング	29
3.1 プリブート認証パスワードを忘れたときは?	29
3.1.1 クライアント PC でパスワードの回復に必要な情報を取得する	29
3.1.2 EPO でリカバリーパスワードを確認する	31
3.1.3 クライアント PC でパスワードを再設定する	33
3.2 Windows が起動できない場合の対処方法	36
3.2.1 クライアント PC でリカバリーデータの作成に必要な情報を取得する	36
3.2.2 EPO でリカバリーデータを作成する	37
3.2.3 回復ドライブの作成を行う	40
3.2.4 クライアント PC で回復ドライブを使用して復号を行う	45
4 付録	48
4.1 オフラインライセンスの登録	48

1 導入手順

導入の流れは、オンラインヘルプの「始めましょう」の項目を参照してください。ここで は、主に導入手順の中のライセンスの登録方法や製品のインストール方法について記載し ます。

1.1 ライセンスの登録

ライセンスを登録すると EFDE のインストールや設定が行えるようになります。ここで は製品認証キーを入力する方法について説明します。

EPO の Web コンソールで、[詳細]-[ライセンス管理]-[アクション]-[ライセンスの追加]をクリックします。

eset	PROTECT ON-PREM					م (入力すると検索を開始。	0	クイックリンク マ	◎ へば ♡	A ADMINISTRATOR 日 ログアウト
		ライセンス	<管理▲ 0	V 0 0 288	AR	ライセンスタイプフラグ 天道沢	▼ 90.				⊕ 74ルタの油加 ⊗ C
G	送信されたファイル 総外	-				1. A					
•			ム・ライセンスユーザー	ム25イセンスID	JC>PJUR	影动名	1-41	リフュニット	ステータス	有效期期	512>2917 @
					ESET PROTECT Entry On-Prem	ESET Endpoint & Server Security			×		NTP Decidera
	コンピュータユーザー				ESET PROTECT EILEY ON PIEN	each thoppoint of actives accurity					and crash
	ライセンス ライセンス開発										
	ビア証明書										
		4 975. + 9752208	Eta								
		自 ライセンスの#									
		0 71t>201	10								
		アクション マ	✓ 国和成功(2025年2	月12日 942.57]							

 (2) [製品認証キー]にチェックを入れ、製品認証キーを入力して[ライセンスの追加]をクリ ックします。

GS et	PROTECT ON PREM			م (۵	入力すると検察を開始。	0	0490050 ¢	0 ~uJ =	A ADMINISTRATOR □ [□] Ø₽ΦΈ
::		ライセンス管理 💷 🔺 🕻	◆ ① ◎ 副品名 40] うイセンスタイプフラク *※8	 ▼] ↓𝔅 	~			⊕ 7 <i>11/90</i> 611 Ø €
			ムニライセンス10 パンドル名	動而名	-⊐=×ŀ	リプユニット	ステータス	行动规则	ライセンスタイプ ③
A			ESET PROTECT Entry On-Prom	ESET Endpoint & Server Security		_	~		
in n			ライセンスの追加			×	~		NFR
#			次のオプションのいずれかを使用して、ライセンスを追加す O ESET PROTECT Hub、ESET Business AccountまたはESET	できます。 T MSP Administrator					
۲			 						
¢									
			A						
			ユーザー名とバスワードがある場合の手順						
			ライセンスの追加						
					_	_			
		アクションマ ダ 再期成功(2023年	52月12日 9:42:57)						
	LL 1806								

③ EFDE のライセンスを登録後、Web コンソールのメニューやリポジトリ上に EFDE に
 関連する選択肢が表示されるようになります (ライセンス登録後、表示されるようになるまで少し時間がかかります)。

1.2 ポリシーの設定

ポリシーを使用してクライアント PC に導入されている EFDE の設定を行うことができま す。設定内容の詳細についてはオンラインヘルプの「ESET Full Disk Encryption を有効化 および設定する方法」の項目を参照してください。

① EPOのWebコンソールで、[ポリシー]-[新しいポリシー]をクリックします。

œ	T PROTECT ON-PREM					<u>م</u> (ک	入力すると検索を開始 ⑦) oreousa =	0 NUT > 1	ADMINISTR	ATOR 🖂 🛱	グ ル ウト 世
	Øy≥a#-K	ポリシー	:	アクセスグループ 温沢 国	国 カスタムボリシー (0)	90- V				G)フィルタの適加	00
돠	コンピューター	ポリシー	p	68	ボリシー製品	97	2109	变更称频		局终更新	ž.	۲
▲	快出	^ \$<7	-									
	レポート	₽ カスタムポリシー										
	920	へ 🔘 ビルトインポリシー										
	1.7h-5-	(8) Auto-updates										
	-13211-3	ESET Bridge										
	ポリシー	[3] ESET Endpoint for Linux (V7+)										
	違知	ESET Endpoint for macOS (V6) and	-									
	ステータス感覚	ESET Endpoint for macOS (V7+)										
	詳細 >	(30) ESET Endpoint for Windows										
		ESET Full Disk Encryption	. I									
		ESET Mail Security for Microsoft E	1									
		(8) ESET Management Agent										
		Lisk I Server/Hile Security for Linux	-				×					
		III ESET Server Hie Security for Micro	- v				結果が見つかりません。					
		タヴ	P				フィルターの検索条件を調整してください					
							3410-0017					
		キヤノンバソリューションス株式会社 X					54.109.009.97					
	折りたたみ			アクション マ 新し	いれいらー 割り当て ~						K @ 1	0

② 作成するポリシー名を入力し、必要に応じて説明を入力して[続行]をクリックします。

ESET PROTECT ON-PREM		ゆ えカすると検索を開き	⑦ クイックリンク マ	のヘルプマ	A ADMINISTRATOR	E ,et
##シュポード 新しいポリシー						
□ コンピューター <u>ポリシー</u> > UDL金ディスク暗号化						
A 98.8						
ゴ レポート <u>基本</u>		_				
面 タスク 第10世で	STOR AT 1 AVEND					
白 インストーラー ガブリー	説明	_				
© #∪≥-						
O 3840	411					
ひ ステータス概要	タグを進択					
274m >						
日 新りたたみ	度る 統行 終了 キャンセル					

 製品選択画面で「ESET Full Disk Encryption」を選択して、EFDEのポリシー設定画面 を表示して暗号化オプションを選択します。

ese	PROTECT ON-PREM				🏚 🔎 አከተፍሪቁጃጵያል። 💿	ウイックリンク マー ③ ヘルプ マー 冬 ADMINISTRATOR	B 10070
	ダッシュボード	新しいポリシー					
돠	コンピューター	ポリシー > EFDE、全ティスク暗号化					
A	9:ti	623					
	レポート	基本	ESET Full Disk Encryption	~		Q. 入力すると快雨を開始	
	タスク	設定	際日かえていまう		14 = - 7 APPAR - N		
	インストーラー	割り当て	Ram-Kellik-				0
	ポリシー	サマリー	7,2,5-19,6,5-	0.0	・ 時日100円米回にする。 ・ 初日100円米回した10円でスペンカウニドード市路がデスキアの対称(対称)		0
	潇9D		1-0-1-29-71-2	0.0.	BERNING STATEMENT COLUMN STREET	オペナのディブウを映画がする	0
	ステークス概要		推玩	0.0.0	 モリルンシンシン シングルサインオンタを効応する 		0
2/	ane >				シングルサインオン1500時年後は後年、ユーザーのパスワード増生は、ESET Full Disk Engrypt はパスワードを変更できる」、「パスワードの文字数」、「パスワードの変換用語」のポリシー 学校会びまき社会問題されてき、また、パスワードの影響のシスンは説明されません。(CDD) 変要する必要があるパオジョンを使用してください、	Conclusts、Windowsボリシーによって登場されます。これには、「ユーザー が音変れます。ただし、周旋でスワードが生成されるとき、バスワードのた C. Adve Diredosy内のWindowsの(ユーザーは次日ログオン株に)てスワードを	
				0.0	FDC認証を類効にする		0
					TRUSTED PLATFORM MODULEサポート		
				0.0	 TPMを使用する 		0
					TPMの使用を余効にし、Insted Pattorn Module (IPMの所有権を取得します。お客様の責任に ださい。他のソフトウェアで使用されていると、データが現失する可能性があります。		
				0.0	€ TPMΈ−Γ	可能な場合にはTPMを使用する	0
					OPAI自己暗星がドライブサポート		
					← Cpalを使用する	CIID	0
					Opalを使用すると、セキュリティガディスクハードウェアペンダーに任せられます。日初はサ て責任を負うこともできません。使用中のディスクに確認済みのセキュリティ要要性があるか。		
				0.0	k Opalモード	可能な場合にはOpalを使用する	0
Ð	新りたたみ		展5 1817 第7 年v	rotes			

④ 暗号化を開始する設定を行う場合は、「暗号化を有効にする」の項目を有効にします。

ese	DROTECT ON-PREM				(A) や 入力すると検索を開始。			
::		新しいポリシー						
돠		ポリシー 〉 EFDE 全ディスク増号化						
A								
-		基本 ESET Full Disk	Encryption	٣		Q. 入力すると検索を開始		
œ		19定 暗号化才2	ν=ν π		フルディスク第号化キード	.	4	
⊜		10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	ポリシー	0.0	暗号化を有効にする		0	
۲		2-9-4	ンターフェース	0.01	・暗号に設定アクションを実行することをユーザーに再確認するまでの時間(時間)	4	0	
φ		接统			暗号化オプション	すべてのディスクを暗号化する	• 0	
v				0.0 1	シングルサインオンを有効にする (0 ≥ 2.0)		0	
2					シングルサインオンSSDIF新活动場合、ユーザーのパスワード専門は、SET Full Dec Resyntre (おくなつードを宣告できる)、パスワードの交付着)、パスワードの有効開発しのポリシー、 学校会は引き続き通れてれます。たい、パンワードの開始化タスクは適用されません。代わりに 変更する必要があるパプションを使用してください。	ではなく、Windowsだりシーによって簡単されます。これには、「ユーサ 好きまれます。ただし、回塞パスワードが生活されるとき、パスワードの Active Directory内のWindowsの(ユーザーは次国ログオン新しパスワード		
				0.0 1	FDE認証を無効にする		0	
					TRUSTED PLATFORM MODULEサポート			
					TPMを使用する		0	
					「PMの)使用を有効にし、Trusted Platform Module(IPMの)所有場を取得します。お宮蔭の告任に ださい。他のソフトウェアで使用されていると、データが現実する可能性があります。	GUT、TPMが他のソフトウェアによって使用されていないことを確認して		
				0.0 1	FTPME-F	可能な場合にはTPMを使用する	- 0	
					OPAL 自己語言がドライブサポート			
				0.0 1	Opalを使用する		0	
					Opalを使用すると、セキュリティガディスクハードウェアペンダーに任ぜられます。はけばサー て責任を負うこともできません。使用中のディスクに確認多みのセキュリティ振発性があるかど	ドバーディーデバイスのセキュリティの温度を検証することも、それにつ つかを確認することをお勧めします。		
				0.0 1	opalモード	可能经结合にはOpalを使用する	~ O	
	折りたたみ		総行 株7 キャンセル					

⑤ その他の暗号化オプションや、パスワードポリシーなどは必要に応じて設定してください。必要な設定が完了したら、「終了」をクリックします(ここでは、割り当ては行いません)。

ese	PROTECT ON-PREM				ф 🔎 Хлязьнаяща. 🧿 с	イックリンクマ ③ ヘルプマ & ADMINISTRATOR	E	3 0079►
::	993-1#-F	新しいポリシー						
G	コンピューター	ポリシー > EFDE_全ディスク暗号化						
A	株出							
1	レポート	基本	ESET Full Disk Encryption	~		Q、入力すると検索を開始。		
60	タスク	Ret	REP/175-21		14-2-7-5-0-0-1			
_	インストーラー	割り当て						
0	ポリシー	979-	7009-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	007	 ・現当して有かし、 ・ ・ ・		0	
4	3¥40		ユーザーインターフェース	0.07	「時間に設定アクションを来行することをユーリーに再確認するまでの時間(時間)			
и.			接続	007		\$^C077298851036	0	8
7	AT-9AMR			0.0.7	シングルワインオンを用効にする シングをサインドンのの分類時に行る。ユーザーのパブローを開発していたためではないのです。	THE MANAGERINAL PROPERTY OFFICE (7-4-	0	
	tiu >				はなスラードを空雪できる」、「パスワードの安全像」、「パスワードの無効構成」のポリシー 字説を見引き成を遮視されます。また、パスワードの開始化タスクは遮用されません。代わりに 実質する必要があるパプションを飲用してください。	が含まれます。ただし、国際パスワードが生成されるとき、パスワードの文 、Active Cirectory内のWindowsのロニーザーは次間ログオン特にパスワードを		
				0.0.9	FDE認証を無効にする		0	
					TRUSTED PLATFORM MODULEサポート			
				0 0 1	TPMを使用する		0	8
					ださい。他のソフトウェアで使用されていると、データが快快する可能性があります。	Service removances and the service of the service o		
				001	F TPME-F	可能な場合にはTPMを使用する v	0	
					OPALEGRENE CONTRACTOR			
					Openを使用すると、セキュリティがディスクハードウェアペンダーに任せられます。EXEIロサー	FJTーディーデバイスのセキュリティの雑言を検証することも、それについ		
					て責任を負うこともできません。使用中のディスクに確認済かのセキュリティ範疇性があるかど	うかを確認することをお勧めします。		
				001	F Opa liti – I S	可能な場合にはOpalを使用する	0	
e	折りたたみ		読行 第7 キャンセノ	ų.				

1.3 EFDE クライアントのインストール

EFDE のクライアントをインストールする方法は以下の3つです。

- オールインワンインストーラーを使用する
- ソフトウェアインストールタスクを使用する
- 暗号化の有効化ウィザードを使用する

ここでは、オールインワンインストーラーを使用する方法と暗号化の有効化ウィザードを 使用する方法について説明します。

1.3.1 オールインワンインストーラーを使用したインストール

オールインワンインストーラーを使用したインストール方法は、EPO で管理していないク ライアント PC に ESET 製品をまとめて導入する場合に向いています。ここでは、ESET Management エージェント(以降、エージェント)と EFDE をパッケージングしたオールイ ンワンインストーラーの作成と実行の手順を説明します。

■オールインワンインストーラーの作成手順 メニューの[インストーラー]から、オールインワンインストーラーを作成します。

EPO の Web コンソールで、[インストーラー]-[インストーラーの作成]をクリックします。



- ② インストーラーの基本項目を設定します。
 - (1) OS タイプは「Windows」を設定します。
 - (2)「配布」項目は「インストーラーのダウンロードまたは ESET Remote Deployment Toolの使用」を選択します。
 - (3)「コンポーネント」項目で「フルディスク暗号化」を選択します。セキュリティ製品も内包する場合は「セキュリティ製品」も選択します。
 - (4)「製品改善プログラムに参加する」にチェックすると ESET 社にクラッシュレポートとテレメトリーデータが送信されます。

ワンポイント

[製品改善プログラムに参加する]は、クラッシュレポートとテレメトリーデータを ESET に送信するかどうか の設定です。同意しない場合は、「製品改善プログラムに参加する」のチェックボックスを「オフ」にしま す。チェックボックスが「オン」の場合、クラッシュレポートとテレメトリーデータが ESET に送信されま す。

(5) オールインワンインストーラーを使用するクライアントコンピューターが所属す る静的グループを設定する場合は、必要に応じて「選択」又は「作成」を選択しま す。

ワンポイント

すでに作成済みの静的グループから選択するときは、[選択]をクリックすると、グループの選択画面が表示さ れます。また、新しい静的グループを作成する場合は、[新規グループの作成]をクリックして、画面の指示に 従って操作します。新しいグループを作成すると、そのグループが自動的に選択されます。



- (6) 「サーバーホスト名」に、接続先 EPO サーバーの FQDN 又は IP アドレスを入力 します。
- (7)「ポート」は、特に指定が無い場合は「2222」のままにします。
- (8) 「ピア証明書」「ESET PROTECT 証明書」項目も、特に指定が無い場合はそのま まにします。
- (9) 「証明書パスフレーズ」は、(8)について指定がある場合のみ入力します。
- (10)「その他の設定をカスタマイズ」を展開して出現する各項目は以下を設定します。

(10)-1「インストーラー名」に任意の名前を入力します。「説明」欄の入力は任意です。
 (10)-2「常に利用可能な新バージョンの製品とコンポーネントをインストール」にチェックすると、次項「製品の設定」で指定したバージョンに関係無く最新の製品がインストールされます。

(10)-3 「タグ」の設定は任意です。

(10)-4 「初期構成(任意)」では EM エージェントの初期設定を内包させます。必要な 場合は、ポリシーを適宜選択します。

ワンポイント

初期構成は、オールインワンインストーラーでインストールを行うエージェントの設定を行います。「設定し ない」を選択すると、所属する静的グループにマージされたポリシーのみが適用されます。「ポリシーのリス トから設定を選択」を選択すると、エージェントに適用する設定を既存のポリシーのリストから選択できま す。選択を行う場合は、[選択]をクリックし、使用可能なポリシーのリストから設定するポリシーを選択しま す。定義済みのポリシーの中に適した設定がない場合は新しいポリシーを作成するか、既存のポリシーをカス タマイズしておき、最初の手順からオールインワンインストーラーの作成をやり直します。

es	T PROTECT ON-PREM		(1) (2) λ лута 2 же выс. (3) 0.4 урузур \circ (3) льг \circ (4) доминистратов (2) $_{729}$	אפיק
		インストーラーの作成		
G		インストーラー > EFDE_AIO		
A		基本	● L ² 74初史	-
-		製品の設定	SET PROTECTEME	
æ		配合		
<u> </u>		(8)	● ESET PROTECT論明書 回到 N→」(一小印刷	
۲			第行者 CHeサーバー 2022年CONexeet Oncomont # Shinagawart # Roly of eIP。 件名 CHi-Agent at 100+reactO-canant - Shinagawart # Roly of eIP。	
Ŷ			製品 Appent, Sai Felio (8) 2023から Car Gas 10: 2015年 平大学教	
8			証明書パスフレーズ ①	
		(9)		
		(10)	その他の設定をカスタマイズ へ	
			€ √__\€	
			ROFWO X	1
		(10-1)	2月 (任意)	- 1
				- 1
		(10-2)	32ポーネントインストール	- 1
		(10-2)	」 第に利用可能な約/(ージョンの離島とコンボーネントをインストール (2)	- 1
		(10-3)	タクを選択	- 1
_				
			このMMERANDAMEMACとしていたMMERANDS・パンシアーがMMERANDSパインドロンドロンドのMMERANDMERANDERADEの189。 コンピューターの「原用液のボリシー」で原則構成は見えません。	- 1
		(10-4)		- 1
		(10-4)	1111/11-2022	- 1
			HTTP/C1453822EW80:78	Ļ
			(23) (13) (13) (13) (13) (13) (13) (13) (1	

(10-5) 「HTTP プロキシ設定を有効にする」のチェックをオンにすると、エージェントのプロキシ設定を内包できます。必要に応じて、本項目を設定します。

es	T PROTECT ON-PREM			🅼 🔎 入力すると被害を開始。	⊚ চন⊍চয়>চ ⊽	⊚ ∿⊮⊅ マ	A ADMINISTRATOR	□ [□] [□] ^⑦ ^⑦ ^⑦ ^⑦ ^⑦
::		インストーラーの作成						
G		インストーラー > EFDE_AIO						
A		最本	EPDE.AIO ×					
=		 製品の数定 	取明 (任意)					
		配布						
-			コンボーネントインストール					
6			□ 常に利用可能な前/(ージョンの製品とコンボーネントをインストール ⑦					
			97					
ų.,			タクを選択					
2			60単純素(は20)() この構成は初期構成としてのみ使用されます。ポリシーが適用されたグループ内に	デバイスが設置される場合、構成は置き換えられます。				
			コンピューターの「適用資みポリシー」で初期構成は見えません。					
			1257 S7/26 1956					
			 ITTPプロキシ酸素を有効にする 					
			• 木太ト ⑦					
			このフィールドは必須です。					1
			• #−ト ⊚					
			A					
		(このフィールドは必須です。					
		(10-5)	ユーザ名					
			パスワード					
								I
			71-115-11-11-12					I
			■ HTTPプロキシが使用できない場合は医療接続を使用する					
_								
			版6 M8行 M87 キャンセル					

③ 手順②で[フルディスク暗号化]にチェックボックスを「オン」にしていた場合は、[フ ルディスク暗号化]セクションが表示されます。以下の項目を設定し、「終了」を押しま す。

ese	DROTECT ON-PREM			🕼 🔎 ಸಿನ್ನಾಂಜ್ಯಾಂಹು. 🕐	0190920 ₹	© ~⊌7 ₹	A ADMINISTRATOR	B
	ダッシュボード	インストーラーの作成						
G	コンピューター							
A	#1	基本						
	Lott-ト	製品の設定 (1)	つルディスク接身化 SEE For Disk Formation パージョン20180 日本計算符 WINDOws					
	979	配布 (1)	• エンドユーザーライセンス契約					
	インストーラー	(2)	✓ エンドユーザーライセンス契約に発意し、プライバシーポリシーを発揮しま	с у.				
	ポリシー	(2)	ade					
	通知	(3)	多へくのアイスクを増与化・使用可能なきたはIFMの作用されます。 CIRUは使用	ICTUBIEN A				
2/	ステータス概要	(1)	その他のみたそりスクマイスパ					
	2240 /	(4)	54222	×				
8	新りたたみ		第2 10日 第7 キャンセル					

(1)「フルディスク暗号化」では、自動で最新バージョンの製品が選択されています。 製品名部分を押すと、製品名ラジオボタン(EFDE のみ)、言語のプルダウン(日本 語を選択)、バージョンのプルダウン(利用可能なバージョンが全て出現します)が 表示されます。必要な設定に変更して「OK」を押し画面を閉じます。

œ	PROTECT ON-INEM						B .**
		インストーラーの作成					
다		-1>XI-9-> EIDE AIO					
A		5 *	• 711= 17/188/k				
-		製品の設定	ESET full Disk Encryption: //	-ジョン20.180、日本語賞語、WINDOWS			
00		配布	・エンドユーザーライセン	ス類約			
⇔			エンドユージーライセン	ノス契約に発意し、プライバシーポリシーを承担します。			
Ø			Rote				
φ.,			すべてのディスクを暗号化	製品を選択	×		
8-			その他の設定をカスター		_		
a			ライセンス	ESET Full Disk Encryption			
				23			
				BAE			
				その他の設定をカスタマイへ			
				20.850			
				STELP2086			
					ox a		
_							
Ξ	目のたたみ		R6 887	教了 キャンセル			

- (2) 「エンドユーザーライセンス契約に同意し、プライバシーポリシーを承諾します。」 をチェックします。
- (3)「設定」項目では、EFDEのポリシーを設定します。初期設定では、自動でビルト インポリシーの「すべてのディスクを暗号化-使用可能な場合は TPM が使用され ます。OPAL は使用されません」が選択されています。ビルトインポリシー又は、 手順1.2「ポリシー設定」で作成したポリシーを選択した状態にします。
- (4)「その他の設定をカスタマイズ」を押して表示される「ライセンス」項目では EFDE で使用するライセンスを選択します。初期設定では「ライセンス管理」画面で登録 済みのライセンスが自動選択されています。複数のライセンスが登録されている場 合は、選択中のライセンスをクリックすると、ライセンスの選択画面が表示され、 使用するライセンスを選択できます。

ワンポイント

ここでは、オフラインライセンスを指定することもできます。オフラインライセンスを使用することで、イン ターネットに接続できないクライアント PC に EFDE のインストールが行えます。EPO にオフラインライセ ンスを登録する方法は、「4.1 オフラインライセンスの登録」を参照してください。 ワンポイント

手順②で[セキュリティ製品]のチェックボックスを「オン」にしていた場合は、[完全ディスク暗号化]セクションより先に[セキュリティ製品]セクションが表示されます。

!重要

[ESET AV REMOVER を有効にする]をオンにしないでください。ESET AV REMOVER の利用はサポート対 象外となります。

(4)

[配布]セクションが表示されます。ターゲットプラットフォームを選択します。



⑤ リポジトリからインストーラーのダウンロードが実行されます。



⑥ ダウンロードが終了したら、上部の「…」をクリックして、保存を選択します。



⑦ ダイアログが開いたら、[詳細表示]をクリックした後、[保持する]をクリックします。



⑧ [フォルダーに表示]をクリックするとダウンロードしたインストーラーを確認できます。



⑨ Web コンソールの[配布]セクションの画面(手順④の画面)で、[終了]をクリックします。これで、オールインワンインストーラーの作成は完了です。

es	PROTECT ON-OREM				 Ø 0490. 	シクマ ③ ヘルプマ	R ADMINISTRATOR	E DOPON
-	ダッシュボード	インストーラーの編集						
⁷ G	コンピューター	1>21-3-> EFDE_AIO						
A	19.1%	豆本	ターゲットプラットフォームを選択					
	レポート	製品の設定						
	97.0	配布	64					
	インストーラー		bit					
	ポリシー		<u>لە</u>					
	1890							
	ステータス概要		リモート取開					
2	jitili >		kemote Deployment icongタワンロートします。作用されたインストーラーを一括で	ホットゾージに配作してます。				
			HADENO					
æ	振りたたみ		版2 施行 政王 (中マンセル)					

■オールインワンインストーラーの実行

EFDE を導入したいクライアント PC でオールインワンインストーラーを実行します。オー ルインワンインストーラーを使用すると、エージェントと EFDE の両方を一緒にインスト ールできます (パッケージに、ESET セキュリティ製品も含めている場合は、ESET セキュ リティ製品も一緒にインストールできます)。

① オールインワンインストーラーをダブルクリックして起動します。

ROTECT Lostaller	

オールインワンインストーラーが起動します。[続行]をクリックすると、インストールが開始します。



③ インストールが完了したら、[完了]をクリックします。

	- X
PACKAGE INSTALLER	インストール成功
437 7	すべてのバッケージは正常にコンビューターにインストールされました。
インストール 完了	完了をグリックして、製品設定を完了してください。
	ゼキュリティの詳細: ESETナレッジベース ESETとつながる: ∮Facebook ⊌Twitter ≧Youtube
	完了

④ ライセンスのアクティベーションの処理が完了して再起動を促す画面が表示されるま で待ちます。画面が表示されたら[今すぐ再起動]をクリックして、OS を再起動します。

(eser) FULL DISK EN	ICRYPTION - • ×
▲ 保護の状態 章 設定	▲ 注意が必要です
 ● ヘルプとサポート 	▲ コンピューターを再起動する必要があります 製品がインストールまたはアップリレードされました。ソフトウェアが機能するには、コンピューター たちはあっていたがあります。 うずぐ再起動
ENIOY SAFER TECHNOLOGY ^M	

⑤ Windows にログイン後、暗号化開始の画面が表示されます。暗号化を開始する場合は [再起動]をクリックして、OS を再起動します。

CED FULL DISK ENCRYPTION
● データの保護を開始
管理者がワークステーションの暗号化を有効にしました。
暗号化を開始するには、まずワークステーションを再起動する必要があります。プロセスが 開始されると、バスワードの設定を求めるメッセージが表示されます。
1. 再起動 2. バスワードの設定 3. 暗号化処理が開始します 4. 次回の起動時に、バスワードを使用してログインします
再起動 延期

 ⑥ 再起動中に、EFDE Safe Start モード画面が表示されて1分後に自動的にOS が起動し ます。任意のキーを押してすぐにOS を起動することもできます

	ESET FULL DISK ENCRYPTION	
	Safe Start∓−ド	
	ouro otarite i i	
	Windowsが起動し、フルディスク暗号化が続行します。Windowsが起動し ない場合は、再起動してください。システムが標準に復元されます。	
	任意のキーを押す	
	システムは58秒後に自動的に起動します	
	ОК	
F2 BIOS		V2.4.21UM

Windows にログイン後、EFDE プリブート認証パスワードの設定画面が表示されるので、パスワードを入力して[OK]をクリックします。

FULL DISK ENC	RYPTION		
! パスワードの設け	È		
新しいパスワード:			
•••••			<u>م</u>
パスワードの確認:			
*********			Ŷ
パスワードボリシー:			
数字を含める必要があり 小文字を含める必要があ	ます 🖌		
大文字を含める必要がる	ちります 🗸		
		ОК	征期

⑧ パスワードが作成されるとディスクの暗号化が開始します。EFDE クライアントの画面 もしくは、EPO の Web コンソールで暗号化の進捗状況を確認できます。

■EFDE クライアントの画面

eser FULL DISK EN	eser FULL DISK ENCRYPTION - • ×				
 保護の状態 登設定 	1 暗号化が進行中です				
	 コンピューターを暗号化しています 処理が開始し、10%未満完了しました 詳細の表示 				
ENIOY SAFER TECHNOLOGY ^M					

■EPOのWebコンソール

esei	PROTECT		ゆマ コンピューター名	ウイックリンクマ © へい	ブマ R ADMINISTRATOR	E ^{ログアウト}
		(東る) コンピューター > <u>() ()</u>	desktop-r6bpb/tv			0
G		i cze	75-1 A 4	JARAMENT JUTHE T		
A		() RE				
		0 07	1722	問題詳細	ステータス ↔ 製品	۵
œ		 タスクの実行 ローズンストール液みアプリケーション 	コンピューターを暗号化しています	処理が開始し、10%未満完了しました	セキュリティ道知 ESET Full	Disk Encryption
		✓▲ 75-ト				
0		2 MM				
¢		会 検出と隔離	0			
%		\$F#E				
		100				
			•			,
E	折りたたみ	90. D>81 V				

⑨ 暗号化が完了するまで待ちます。暗号化の完了は、EFDE クライアントの画面で以下の 表示になること、もしくは EPO の Web コンソールで暗号化進行中のアラート(前述) が表示されなくなることで確認できます。

■EFDE クライアントの画面

(ISK EN	CRYPTION - • ×
✓ 保護の状態 ☆ 設定	✔ 保護されています
❷ ヘルプとサポート	✓ ライセンス ライセンス有効期限: 2023/01/31
ENIOY SAFER TECHNOLOGY	

ワンポイント

暗号化が完了するまでに要する時間は、HDD/SSD の性能や容量によって異なり、場合によっては数時間かか る場合があります。また暗号化中の処理中に Windows のシャットダウンや、再起動、スリーブ、休止モード への移行を行った場合、作業は自動的に中断され、Windows 起動後に暗号化が再開されます。ノート PC など バッテリー駆動を行っている場合は、安全のため暗号化の処理が中断されます。ノート PC を AC 電源に接続 すると暗号化の処理が再開されます。また、暗号化処理は開始すると途中でキャンセルできません。復号を行 う場合は暗号化の処理が完了してから実施してください。

1.3.2 暗号化の有効化ウィザードを使用したインストール

暗号化の有効化ウィザードを使用したインストール方法は、既に EPO でクライアント PC を管理している場合に向いています。エージェントの導入については、EPO のマニュアル 及びオンラインヘルプなどを参照してください。

EPO の Web コンソールで、選択したクライアント PC のコンテキストメニューから[暗号化を有効にする]をクリックします。または、[詳細を表示]の[概要]-[暗号化タイル]で[コンピューターの暗号化]をクリックします。

■[暗号化を有効にする]



■[詳細の表示]-[概要]-[暗号化タイル]-[コンピューターの暗号化]

(es <mark>e</mark> i	PROTECT			Q ▼ ⊃>ビューター名	クイックリンク・	マ ③ ヘルプ マ	A ADMINISTRATOR	B <mark>- 007여ト</mark>
		<戻る コンピューター > ② desitop-	rőbpbtv					0
돠		i ere	前田の接続時間	2021 1月 21 13:26:11				^
A		\$ Rž	第日の検査時期 検出エンジン	n/a n/e				
		0 07	更新	不明				
		▶ 9200#6 9 x 27 h=1/83/771/7=5.9 ×						
		A 75-h	A	- (= \$)		QQ 7_+f_		
		7 無明	•			~~- ·		
		승 後出と開設	ESET Full Disk Encry スクを暗号化するこ	ptionをインストールすると、コンピュー とができます。	ーターディ	割り当てられたユーザー Na	ログオンユーザー	
		··· #18				通知ユーザー		
			-0>81-9-	力编号化				
								×
		NG. 022 V	R# A-F	シェア マ ネットワーク展測 マ				

② [暗号化を有効にする]の画面が表示されます。各設定項目(③~⑧)の説明は、後続の対応する番号の手順(③~⑧)に記載します。

CEET PROTECT		ゆっ コンビューター名	9-15	10050 ~	© ~1	J ∞ A ADMINIST	iuton E	3 00770F
dusit-r	コンピューター	噴号化を有効にする	×			906400		0
	グループ	コンピューターを接号化するために、Ful Dak Encryptonがインストールされ、様本さ れたライセンスでアクティベーションされます。紛号化は、調用したポリシーで発行さ		22-1-	モジュール	國民國語	75-1	180 (S)
A *=	^D# <c@< td=""><td>れた設定で有効化されます。 各コンピューターの紛争化には時間がかかる場合があります。状態はコンピューター5</td><td></td><td></td><td>不明</td><td>2021 1(4) 21 (3:44:11</td><td>٥</td><td>0</td></c@<>	れた設定で有効化されます。 各コンピューターの紛争化には時間がかかる場合があります。状態はコンピューター5			不明	2021 1(4) 21 (3:44:11	٥	0
≴	Ci LOST+FOUND (2) ~ Bi Windows コンピューター	acazer.			不明	2021 1月 21 13:4429	0	0
B 920	~ BI LINE 22-9-	すべてのディスクを勝号を一座用可能な場合はTPMLが使用されます。ORALは使用され	×					
8 XU2-	01 BIVEST-W027GT-4-	 (4) ***** 2) 必要に応じて6587 Full Disk Encryptionをインストールする 						
് അം	 ① 古いオペレーディングシステムの ⑦ 開墾のあるコンピューター 	Smar-9a5						
そ ステータス概要	(ii) アクティペーションされていない	PSPT Full Disk foregation 1.2.2.8						
- 116 /	77	Strateンス SST Full Disk Encryption, ライマンスID 344-N48-UAB, 所有第のAV Technical term (exet)						
		chud dev@canen eg.co.jpl 所的的第2022 1月 11 21 00:00						
	\bigcirc	BAR Y						
	ここでは、透用されたタグのリスト	Tンドリーザーライヤンス装飾 アプリケーションのコンドリーゲーク目的活動の名類と発音1、プライバール						
	認し、すぼやくフィルタリングでき す。	リン を構成します。						×
11 折りたたみ		85120818 8722	~				N	© 1 © 🖗

- ③ [構成ポリシー]で EFDE の初期設定に使用するポリシーを選択します。当初、自動で ビルトインポリシーの「すべてのディスクを暗号化-使用可能な場合は TPM が使用さ れます。OPAL は使用されません」が選択されています。異なるポリシーを使用したい 場合は、ポリシー名をクリックすると、ポリシーの選択画面が表示され、使用するポリ シーを選択できます(手順「1.2 ポリシー設定」で作成したポリシーも選択できます)。
- ④ 「必要に応じて ESET Full Disk Encryption をインストールする」のチェックボックス を「オン」にします。このチェックボックスを「オフ」にした場合は、製品のインスト ールは行われずポリシーの割り当てのみ実施します(インストールタスクで製品のみ導 入して、暗号化を有効にするポリシーのみを後で割り当てるときなどに使用できます)。
- ⑤ [製品/バージョン]には、自動で最新バージョンの製品が選択されています。異なるバージョンを選択できる場合は、選択中の製品名をクリックすると、製品の選択画面が表示され、使用するバージョンを選択できます。
- ⑥ [ライセンス]には、ライセンス管理に登録済みのライセンスが自動選択されます。複数 のライセンスが登録されている場合は、選択中のライセンスをクリックすると、ライセンスの選択画面が表示され、使用するライセンスを選択できます。
- ⑦ [言語]が日本語に選択されていることを確認します。
- ⑧「アプリケーションのエンドユーザー使用許諾契約の条項に同意し、プライバシーポリシーを確認します。」のチェックボックスを「オン」にして、[暗号化の開始]をクリックします。
- ⑨ 以降の手順はクライアント PC 側で行います。手順は、「1.3.1 オールインワンインスト ーラーを使用したインストール」の「■オールインワンインストーラーの実行」の⑥以 降の手順と同じです。

2 EFDE クライアントの画面構成

EFDE は、Windows が起動するとデスクトップの通知領域にアイコンを表示します。ア イコンを右クリックして「ESET full Disk Encryption を開く」クリックするとユーザーイン ターフェースが起動します。



EFDE のメインウィンドウは、2 つのセクションに分かれています。右のプライマリウイン ドウには左のメインメニューで選択したオプションに対応する情報が表示されています。



次に、メインメニューにあるオプションについて説明します。

保護の状態:EFDEの状態に関する情報が表示されます。暗号化が完了していて正常な状態の場合は緑色の表示になります。暗号化されていない場合や、その他注意が必要な場合は、その内容に応じて赤色もしくは黄色の表示になり、問題や注意の内容が表示されます。

■正常な状態



■注意が必要な状態

ESET FULL DISK ENCRY	PTION	-	×
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	! 注意が必要です		
⑳ ヘルプとサポート	 プレゼンテーションモードは有効です プレゼンテーションモードを無効にする 		
Progress Protected			
Progress. Protected.			

設定:このオプションを選択すると、暗号化や復号している時の進捗状況の確認、暗号化パ スワードの変更およびプレゼンテーションモードの設定ができます。

(CSCT) FULL DISK ENCRY	PTION	- 🗆 X
18 保護の状態	設定	∂ 暗号化パスワードの変更
 (2) 設定 (2) ヘルプとサポート 	☐ デイスク 0 (GPT, ブート) - Vidware Virtual NVMe Disk ✓ C (No Name) 暗号化	
Progress. Protected.	プレゼンテーションモード 回知:すべてのポップアップウィンドウガ表示されません。	

ヘルプとサポート:ヘルプファイルや製品ホームページの FAQ、製品のバージョン情報を 確認できます。



■ヘルプとサポート

ESET Full Disk Encryption のバージョン情報	製品のバージョンやクライアント PC の情報を確認できます。
製品のトラブルシューティング	ブラウザで ESET Full Disk Encryption のヘルプページを開きます。
ヘルプページ	ブラウザで ESET Full Disk Encryption のヘルプページを開きます。
ナレッジベース	ブラウザでサポートページを開きます。
テクニカルサポート	製品のバージョンやクライアント PC の情報を確認できます。

3 トラブルシューティング

ここでは、EFDE のプリブート認証パスワードを忘れてしまったり、フルディスク暗号化 を行ったパソコンが起動しなくなったりしたときの対処方法を説明します。

3.1 プリブート認証パスワードを忘れたときは?

プリブート認証パスワードを忘れてしまったときは、EPO を使用することで、パスワード の回復を行えます。EPO を使用してプリブート認証のパスワードを回復する方法は、以下 の流れで行います。

- パスワードの回復に必要な情報(「Workstation ID」と「リカバリーインデックス」)を ユーザーが管理者に連絡する
- ② 受け取った情報を元に、管理者が必要なリカバリーパスワードを確認してユーザーに伝える
- ③ ユーザーが、リカバリーパスワードを使用して新しいパスワードを設定する

3.1.1 クライアント PC でパスワードの回復に必要な情報を取得する

クライアント PC 上で「Workstation ID」と「リカバリーインデックス」の取得は、以下の 手順で行います。

① プリブート認証画面で、「F1」を押して、メニューを表示します。

	(ESET) FULL DISK ENCR	YPTION	
	システムの起動	F1 =	
	パスワード	F5	
12 Japanese (106/109)	Workstation ID: C3C47032-D7BB-11EF-9AB	F-000C29795299	V2.6.82UM EFDE

② 「パスワードの回復」を選択して「Enter」キーを押して「パスワードの回復」画面を表示します。

	ESET FULL DISK ENCRYPTION	
	ヘルプ	
	メニュー ショートカット	
	バスワードの変更	
	バスワードの回復	
	閉じる	
😰 🖼 Japanese (106/109)	Workstation ID: C3C47032-D7BB-11EF-9ABF-000C29795299	V2.6.82UM EFDE

③ 「Workstation ID」と「リカバリーインデックス」を確認できます。

ese	T FULL DISK ENCRYPTION	
パスワードの回復		
続行するにはリカ ログインバスワー	nバリーバスワードが必要です。これにより - ドをリセットできます。	
リカバリーイン	デック ス 00000000	
リカバリーパス	7-F [
	OK キャンセル	
🕫 📟 Japanese (106/109) Workstation IC		

3.1.2 EPO でリカバリーパスワードを確認する

リカバリーパスワードは、ユーザーから受け取った「Workstation ID」と「リカバリーイン デックス」を使用して管理者が EPO の管理画面で確認します。管理者がリカバリーパスワ ードを確認する方法は 2 つあり、以下の手順で行います。

■管理者が Web コンソールで影響を受けるクライアント PC を特定できる場合 ① Web コンソールのクライアント PC のコンピューター詳細に移動します。



[概要]-[暗号化タイル]で、[管理]-[アクセスの復元]-[リカバリーパスワード]を選択します。

E PROTECT	Gマ コンピューター名 クイック	マリンクマ ③ ヘルプマ A ADMINISTRATOR 日 ログアウト
ور ج رہ کا کہ جائزہ جائزہ کا کہ جائزہ جائزہ جائزہ جائزہ جائزہ جائزہ ج	🖞 😨 desktop-rilopitiv	o
	田田の伝統物質 20211月21110858 田田の伝統物質 0/4	ik Freegoton 2023 15 31 210000
▲ 651 00 ログ ぶ レポート ▷ 9200展行	検出エンジン n/a 要要 不明	
	232 (1) 暗号化有効 世道 マ	RR 1-4-
① 通知 学 質可 ① 通知 後 地北と国野 砂 スアータス教表 1000	20ビューターは、運用されたホリシーに 〇 F0EDダインパスワードの	振行の 振行の アクセスの成元
in and Salary	 アウセスの構成 ドロ転送を一時停止する ドロ転送を用柄する 	> パーリカル(リー)パスウート > 同 リカル(リー)データ
	適用されたポリシーを食る	
E #0££2	♥ 保存 ハードウエア ♥ ネットワーク採用 ♥	

③ リカバリーインデックスに対応するリカバリーパスワードをユーザーに伝えます。

ese	PROTECT		R▼ ⊐>	ビューター名 クイックリン・	7 © ~1.7 ⊂ . ×	ADMINISTRATOR 日 ログアウト
		< <p>(g3) ⊐>ピューター > Ŝ Ø desktope</p>	flopbte			
돠		i ez	日の接近時間	- 2621 1月 21 11:66:58		
▲		() 22 ()	1回の快楽時期 N出エンジン	n/a n/a	lisk Encr	yption 2023 1月 31 21:00:00
<i>5</i> 1		○ ログ ▶ タスクの実行	- 25	7期 ×		
Ð		◎ インストール祭みアプリケー· 🧹 ^{リノ}	カバリーバスワード			
0		A 75-1	リカバリーパスワードを使用して	、コンピューターをロック解除できます:	RR 2-4-	
¢		2 長所 リカハ み 神出と滞然 00000	00-インデックス Uカバリーパ 000	29-F	割り当てられたユーザー	ログオンユーザー
v		55HE			n/a ≩nt⊐_+f-	
				ок		
		1	適用されたポリシーを表示			
Э.	折りたたみ	10- 10-20 V #1	x - ドウェア マ	ネットワーク問題 マ		

■管理者が Web コンソールで影響を受けるクライアント PC を特定できない場合

① Web コンソールの[ヘルプ]-[暗号化リカバリー]を選択します。

CESer	PROTECT			r3⇒	コンピューター名	クイックし	レクッ の へいげ ^	я	ADMINISTRATO	IR 区 07	PON
	ダッシュボード	コンピューター	:	A 0 - 0	サブグループの表示 🛃	D 3×4 (5)		フィル	901610	プリセットマ] 0
돠	3783-4-	グループ	0		-7-8	41		-1-	モジュール	新田の接続	۲
A	探出	 ۵ 	1	🗌 🔕 🕲 des	itop-r5kp1tv 192.168.10.105		暗号をリカバリー サポートフォーラム		不明	2021 1月 21 11	10.58
	レポート タスク インストーラー ポリシー	D L051+F0UND (2) D Windows コンピューター V D UnauDンピューター V D UnauDンピューター Mac コンピューター Mac コンピューター Mac パンピュールのコンピューター Mac パイレーティングシステムのコン。			ing win Climitsekenad 1927.166	L ho	ESETサポートニュース マルウェア保護局 ESETウイルスレーダー サポートに講師 新物能 バージョン保護		不相	2021 1月 21 11	11,29
	通初 ステータス相要 5%H →	11.10日のままでいい - キー タグ ノ こここに、第時にたらクロリストを指 回し、19年(こと)人のリングできま	•								
Ξ	近りたたみ	7.		MRCH Y	アクション マ					[H © 1 ⊂	

[リカバリーパスワード]が選択された状態で、「Workstation ID」を入力して[続行]を選択します。



③ リカバリーインデックスに対応するリカバリーパスワードをユーザーに伝えます。



3.1.3 クライアント PC でパスワードを再設定する

管理者からリカバリーパスワードを受け取ったら、プリブート認証画面で新しいパスワー ドの設定を行います。

① プリブート認証画面で、「F1」を押して、メニューを表示します。

	ESET FULL DISK ENCRYPTION	
	システムの記動	1
		3
	バスワード F5	
	1977	
[12] Eme Japanese (106/109)		

② 「パスワードの回復」を選択して「Enter」キーを押して「パスワードの回復」画面を表示します。

	eset full disk encryption	
	ヘルプ	
	メニュー ショートカット	
	バスワードの変更	
	シャットダウン	
	閉じる	
10 Japanese (106/109)	Workstation ID: C3C47032-D7BB-11EF-9ABF-000C29795299	V2.6.82UM EFDE

③ 「リカバリーパスワード」を入力して「Enter」キーを押します。

	ESET FULL DISK ENCRYPTION	
4	ペスワードの回復	
	統行するにはリカバリーバスワードが必要です。これにより ログインパスワードをリセットできます。	
	リカバリーインデック ス 00000000	
	リカバリーパスワード ******* ① F5	
	OK キャンセル	
12 mm Japanese (106/109)		

 ④ パスワードのリセット画面が表示されます。新しいパスワードと確認用のパスワードを 入力して「Enter」キーを押すと新しいパスワードが設定されます。

	eser Full disk encryption	
パスワードの	回復	
	パスワード	
172	·ワードの確認 ******* ● F5	
	ОК	
F2 Japanese (106/109)	Workstation ID: C3C47032-D7BB-11EF-9ABF-000C29795299	V2.6.82UM EFDE

⑤ リカバリーパスワードの使用回数が設定されている場合は残りの回数が表示されます。
 「Enter」キーを押すと Windows が起動します。

ESET FULL DISK ENCRYPTION	
リカバリーバスワードの残りの使用回数 は4回です OK	

3.2 Windows が起動できない場合の対処方法

フルディスク暗号化が施された後に、Windows が起動しなくなると Windows の修復や暗号 化された HDD/SSD 内のデータを読み出すことができなくなります。このような状況に陥 ったときは、EPO と ESET Encryption Recovery Media Creator を使用して HDD/SSD の 復号とプリブート認証の削除を行います。詳細な手順は、オンラインヘルプの「リカバリー データ」の項目を参照してください。ここでは、オンラインヘルプに記載されている「Win RE USB」の回復ドライブの作成ができない場合に、「EFI USB」の回復ドライブを作成して 対処する方法を説明します。EPO と ESET Encryption Recovery Media Creator を使用して HDD/SSD の復号とプリブート認証の削除を行う方法は、以下の流れで行います。

- リカバリーデータの作成に必要な情報(「Workstation ID」)をユーザーが管理者に連絡 する
- ② 受け取った情報を元に、管理者が必要なリカバリーデータを作成する
- ③ 生成したリカバリーデータと別途ダウンロードした ESET Encryption Recovery Media
 Creator を使用して USB の回復ドライブを作成する
- ④ 作成した USB の回復ドライブを使用して、ユーザーがクライアント PC を起動して、 HDD/SSD の復号とプリブート認証の削除を行う。

3.2.1 クライアント PC でリカバリーデータの作成に必要な情報を取得する

- クライアント PC 上で「Workstation ID」の取得は、以下の手順で行います。
- ① プリブート認証画面を表示します。画面の下部に「Workstation ID」が表示されます。

	eser	FULL DISK ENCR	PTION	
	ンステムの起動		F1 =	
	パスワード	1	F5	
		1	ロダイン	
🕫 📟 Japanese (106/109)				

3.2.2 EPO でリカバリーデータを作成する

リカバリーデータは、ユーザーから受け取った「Workstation ID」を使用して管理者が EPO の管理画面で作成します。管理者がリカバリーデータを作成する方法は 2 つあり、以下の 手順で行います。

■管理者が Web コンソールで影響を受けるクライアント PC を特定できる場合

① Web コンソールのクライアント PC のコンピューター詳細に移動します。



② [概要]-[暗号化タイル]で、[管理]-[アクセスの復元]-[リカバリーデータ]を選択します。



③ 「リカバリーパスワード」を入力の上[リカバリーデータの作成]をクリックします。

eser PROTECT		G⊘ ⊃>ビュ-9-8	0490020 VIJ	マ & ADMINISTRATOR 日 ログアウト
9922M-F	< まる コンピューター > 合 愛 desitop-fit	pòti		o
	i 58 UD/(U	リーデータ	×	·····
 A 株式 ジェレポート 50 タスク 		テータファイルは、特定の料価のあるシステムまたはCD システムを協与してるために、 USIT Encryption Recove 用されます。このファイルは、Recovery Utilityでコンビ する他に必要ないスワードで保護されます。以下でこの してください。	2ックア 7 Utilty ビニータ かれスフ	2023 1月 51 218060
⊖ ⊀021-∋- © #05-	 ▲ インストール基本アプリケーション リカバリー、 ▲ アラート パスワード ? 開助 	UZ ワードの意定 -	RR 2-4	
↓ 1813 ↓ ステータス版画 … 体指)	★ 世出上編建 一 詳録 パスワード	0種語 -	間り当てられたユー! n/s)他加ユーザー	ダー ログオンユーダー
	_		NO.412	
EI MOLLA	10- a>da- a	I-FOID - Start		

④ [efderecovery.dat]をクリックしてリカバリーデータをダウンロードします。

(ESET) PROTECT		届▼ コンピューター名 クイックリン	クマ ③ ヘルプマ R ADMINISTRATOR 日 ログアウト
	(#3) コンピューター > ③ ② desitop-f8pbbi		o
G ->2-	i 50		contactor contraction across
	() 102 以下のファイルをダウ	ンロードして、Recovery Utilityが入ったUSBドライ	194k Bescryption 2023 1/B 31 2140400
		に、USDドライブからコンピューターを記載し、画 予順で指定したパスワードを入力します。語識	
	● インストール済みアプリケーショ: efderecovery.dat		
	▲ 75-h	NCo	20 2-4-
	? MN		
	使出と編載 コンピューター ロンピューター	は、適用されたポリシーに従って暗号化されます。	用り当てられたユーザー ログオンユーザー
			inter-9-
	-		
	100 E42(0.0		
	(NO-) (D>25 9) (AF)/-	やJIC マ (100-0100 マ)	

⑤ ダウンロードが完了したら、[閉じる]をクリックして画面を閉じます。

(ESET) PROTECT				
-#= ##222#-F	コンピューター > ③ ② desitop=fitpbt:			o
G =>×2=-9- i 6€	リカバリーデータ	×	e i con pros con Press. seren	*
38 S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	以下のファイルをダウンロードして、Recovery Utilityが	入ったUSBドライ	Xsk Encryp	ption 2023 1月 31 210000
0 D7	ノにコピーします。次に、058ドライブからコンピュー 面の予想に扱い、第の予想で指定したパスワードを入力	ターを起動し、単 30ます・2月間		
E 970 A 127	efderecovery.dat			
B 4021-5-	ĸ	200	0	
0 xus-		×	X 1-9-	
0 350 0 65 2		70000-0-027	り当てられたユーザー	ログォンユーザー
ジ ステークス出来 - 株社		n/s		
12H >		-		
	適用されたポリシーを表示			
EI 160,5,5,9	コンピュー	の職種 ▽		

■管理者が Web コンソールで影響を受けるクライアント PC を特定できない場合 ① Web コンソールの[ヘルプ]-[暗号化リカバリー]を選択します。

(65C	PROTECT			⊠∞ ⊐>ピューター&	クイックし	レクッ の ヘルプ ヘ	R ADMINISTRATOR	ログアウト - m
		コンピューター	:	▲ 9 ∨ ○ 9ブグループの表示 ビ	D 34/2 (5)		フィルタの追加	7962 PT 0
G		グループ	ø	□ ^ 3½2-9-6	97		-N E92-M	商田の接続
A		> 1 ₹<<<<>> 1 €		🗍 🗍 🖗 desktop-r6kpitty 192.168.10.105	-	暗号化リカパリー サポートフォーラム	不明	2021 1月 21 11:10:58
51 13 13		 □ LOST+FOUND (2) > Windows コンピューター > ℃ Lows コンピューター > ℃ Lows コンピューター 		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	the c	ESETサポートニュース マルウェア情報局 ESETウイルスレーダー サポートに運路	不易	2021 1月 21 11:11:29
0 *		市 さいモジュールのコンピューター じ さいオペレーティングシステムのコン 「!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!				新物能 パージョン協戦		
		タグ 	2					
Ξ	折りたたみ	認し、すけやくフィルタリングできま す。		・ 新規応加 マ アクション マ ミュー				

 [リカバリーデータ]が選択された状態で、「リカバリーパスワード」と「Workstation ID」 を入力の上[続行]をクリックします。

ese	PROTECT		暗号化リカバリー情報 ×	2019 0 ~12 × 60	MINISTRATOR	□ [□] ∂ <i>₽</i>	DF.
		コンピューター		a) [99	ſ	プリセットマ	0
돠		グループ	リカバリーデータファイルは、特定の問題のあるシステムまたはロックア ウトオカラシステムを使用化するために、ISEE Formation Revision (目的)				
▲		へ to すべて (2)	によって使用されます。このファイルは、Perovery Unityでコンピュータ 一を信号化する際に必要な/ スワードで保護されます。以下でこのパスワ	ステータス ミュート	モジュール	教団の接続	۲
26		Windows DVP2-9-	- ドを作成してください。	×	不明	2021 1月 21 12	2:54:59
Ð		∨ butena⊃>Ba-ø-	/X29-F	~	不明	2021 1月 21 12	h55:09
-		✓ ■ Mac コンピューター					
0		11 古いモジュールのコンピューク	パスワードの確認				
-0-		回帰時のあるコンピューター					
8		4J	パスワードを表示				
.***		ここでは、 連用にわたタグのリス 出し、 Tばやくフィルタリングで す。	ワークステーション印 入1950年、5月31-114-556キメ(12514) ワークステーション印は、ブリブート時代も認識意味、家た は、は1951年に日本にの内部のブリケーションのリーション用 前行でかりことを見ます。 1957年のの時年月1999年、1189のダウンロード				
e			キャンセル 長行				

③ [efderecovery.dat]をクリックしてリカバリーデータをダウンロードします。

(SC) PROTECT		ロマ コンピューター名 ウイックト	リンクッ ③ ヘレブッ A ADMINISTRATOR 日 ログアウト
クリンユボード	コンピューター	: 🔺 🛛 🗸 🔿 🚽	40
-9-Ez-9-	グループ	p → 35/23-9-8 50	ステータス ミュート モジュール 前回の前編 ⑥
A HE	へ D すべて (2)	8 2 deskop-räppin 192.168.10.105	✔ 不明 2021 1月 21 12:54:59
ゴーレポート 10 タスク	亡 LOST-FOUND (2) > 凹 Windows コンピューター	□ 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒 〒	✔ 不明 2021 1月21 12:55:09
=	✓ m Unuxコンピューター ✓ m Mac コンピューター	暗号化リカバリー情報 ×	
Ф #US Ф или	 	以下のファイルをダウンロードして、Recovery Unityが入ったUSBドライ プロコピーします。次に、USBドライガからコンピューターを起動し、両 面の手属に扱い、前の手環で指定したパスワードを入力します。詳細	
で ステータス優勝 … 詳細 >	m keshe3m2//1-4- 9//	itercompan	
	ここでは、夏用されたらびのリスト 注し、すばやくフィルタリングでき	na z	
E Kiter	3.		

④ ダウンロードが完了したら、[閉じる]をクリックして画面を閉じます。



3.2.3 回復ドライブの作成を行う

ここでは、ESET Encryption Recovery Media Creator をダウンロードして、「3.2.2 EPO で リカバリーデータを作成する」で取得したリカバリーデータを用いて USB の回復ドライブ の作成を行う手順を説明します。

- FAT32ファイル形式でフォーマットされた 32GB以下の空の USB ドライブをコンピュ ーターに挿入します。
- ② EFDE のオンラインヘルプの「リカバリーデータ」の項目の[ESET Encryption Recovery Media Creator をダウンロードします]のリンクをクリックして ESET Encryption Recovery Media Creator をダウンロードします。

ESET Recovery Media Creator
1. 空のUSBドライブをコンピューターに挿入します。
● USBデバイスにFAT32でフォーマットされたパーティションがあることを確認してください。ESET Recovery Med ia Creatorを設定するには、パーティションが必要です。
EFIモードを使用すると、32GBが最大制限になります。上限を超えると、ESET Recovery Media Creatorに 宛先パ ーティションが大きすぎます(最大32GB) と表示されます。
2 ESET Encryption Recovery Media Creatorをダウンロードしますで。
3. コンピューターでユーティリティを実行し、次へをクリックして続行します。
About
This utility is able to generate recovery software for decryption of Windows computers encrypted by ESET Endpoint Encryption and ESET Full Dak Encryption.

 ダウンロードした ESET Encryption Recovery Media Creator を実行して、「次へ」をク リックします。

		×
4	ESET Recovery Media Creator	
	バージョン情報	
	このユーティリティは、ESET Endpoint Encryptionと ESET Full Disk Encryptionで暗号化されたWindowsコンピュ ーターを復号するための回復ソフトウェアを生成できます。	
	これは、通常の方法でシステムを起動できない場合に使用できます。	
	注意:Windowsプートメディアを作成するには、ターゲットコンピューターと同じアーキテクチャホストでこのユーティリティを 起動します。	
	[次へ]モクリックすると、メディア作成を開始します	
	パッケージパージョン 10520	
	次へ(N) キャンセル	

④ 「EFI USB 32 & 64 bit」を選択します



⑤ 回復ドライブの作成先として①で挿入された空の USB ドライブを選択します。

← (i) ESET	Recovery Media Cre	sator				
作成身	モメディアを選択					
次のデバ	イスの一覧から、回復の	ディアとして使用する	作成先USBディスクを	選択してください。		
	作成先ディスク:	1010 10171 1		200	v C	
		(G:#) - ADATA L	ISB FLASH DRIVE -	738		

⑥ 回復するコンピューターの種類で「ESET PROTECT で管理されているコンピューター」
 を選択します。

回復するコンピューターの種類 EEESで管理されているコンピューター ESET Endpoint Encryption Server提出でESET Endpoint Encryptionを使用して着号化され す。	
EEESで管理されているコンピューター ESET Endpoint Encryption Server経由でESET Endpoint Encryptionを使用して電号化され す。	
	Ł
ESET PROTECTで管理されているコンピューター ESET PROTECT種曲でESET Full Disk Encryptionを使用して間号化されます。	
EEEスタンドアロン スタンドアロンESET Endpoint Encryptionを使用して暗号化されます。	
診断のみ 診断データを生成するようにESETサポートから指示されました。	

 参照をクリックして、「3.2.2 EPO でリカバリーデータを作成する」で取得したリカバリ ーデータ「efderecovery.dat」を選択します。

		×
~	(3) ESET Recovery Media Creator	
	回復データが必要です	
	ESET Full Disk Encryptionで暗号化されたコンピューターを復号するには、回復ファイルが必要です。	
	このファイルを取得するには、管理コソソールを開きます。 1.岩理コンソールのフークステーションのコンピューター学細に称動します。 2.(振要) -> (増号化)タイルで(管理) -> [アクセスの(変元) -> (回(東データ)を選択します。	
	LESCIARS.	
	(参照)をクリックして、ターゲットコンピューターの回復ファイルの場所を指定してください。(efderecovery.dat)	
	● 與]
	次へ(N) キャンセ	JL

 ⑧ サポートから指示がある場合のみ、参照をクリックして、その他のサポートファイルを 選択します(任意)。

		×
*	(2) ESET Recovery Media Creator	
	追加のサポートファイルを指定(任意)	
	通加のファイルを使用するようにESETサポートから指示された場合は、[参照]をクリックして、これらのファイルが培納 されているフォルダーを選択します。	
	李强	
	次へ(N) キャンセル	,

⑨ 設定を確認して、開始をクリックして USB の回復ドライブを作成します。

	×
ESET Recovery Media Creator	
選択概要	
USBスティック: G:¥ に回復ソフトウェアがインストールされます。	
ここに場所にある管理された回復ファイルはメディアに含まれます: C¥Users¥t-koga¥Downloads¥efderecovery.dat	
→ 開始 ここをクリックして、メディア作成を開始してください	
	次へ(N) キャンセル

⑩ ESET Encryption Recovery Media Creator が作成処理を完了するまで待機します。

		×
← 🙆 ESET R	zcovery Media Creator	
メディアを	作成しています	
	ユーティリティファイルのコピー	
		次へ(N) キャンセル

1 回復ドライブの作成処理が完了した後、完了をクリックします。

	×
BSET Recovery Media Creator	
成功	
国復メディアが正常に作成されました。	
回復が必要なコンピューターでセキュアブートが無効になっていることを確認してから、このメディアを使用してコンピュー ターを起動してください。	

JL.	キャンセ	完了(F)	
JI	キャンセ	完了(F)	

(2) 作成された USB の回復ドライブを安全に取り外します。

3.2.4 クライアント PC で回復ドライブを使用して復号を行う

ここでは、クライアント PC で「3.2.3 回復ドライブの作成を行う」で作成した回復ドライ ブを使用して HDD/SSD の復号とプリブート認証を削除する手順を説明します。

- クライアント PC でブートマネージャーを開き、最初のブートオプションとして[USB] を選択します。
- ② [セキュリティ]で[セキュアブート]設定が[有効]の場合は、[無効]に変更します。この 設定は、「EFI USB」の回復ドライブが正しく機能するために必要なものであり一時的 に変更したものなので、リカバリーが完了したらセキュアブートの設定を元の設定に戻 すことを推奨します。
- ③ 「3.2.3 回復ドライブの作成を行う」で作成した USB の回復ドライブをクライアント PC に挿入して再起動します。

④ 回復ドライブが起動してメニューが表示されるまで待機します。表示されたメニューで「すべての暗号化されたディスクを復号化する(EFDE で管理された回復ファイル)」を選択します。

明可能なプロセス 実行するプロセスを選択してください:	
ディスク	清報を表示
診断	
終了	

⑤ パスワードの入力画面が表示されるので、「3.2.2 EPO でリカバリーデータを作成する」 で入力したパスワードを入力します。

127-1			
主意: キーボード入力	は米国英語専用です		
5 - 押すと、パスワー	ド入力の表示を切り替えま	इ	

⑥ 警告画面が表示されます。警告画面の情報を確認し、続行するには「はい」選択します。



⑦ 復号モードの内容を確認し、復号モードを選択して復号処理を開始します。

▲ 重要	
復号化モードを選択してください。 安全: 回復処理中に、チェックポイントが保存され、回復処理が中断された場合のデータ損失を最 小隈に抑えます。 重要なデータを回復するときには、これを強くお勧めします。ディスクのサイズによっては 、完了に時間がかかる場合があります。 パフォーマンス:回復処理の速度が最適化され、Secure Modeよりも短時間で完了します。 回復処理が中断された場合、データが失われるおそれがあります。	
選択してください 安全 パフォーマンス	
!重要	
復号処理中にクライアント PC はシャットダウンしたり	、電源をオフにしたりしないでください。

⑧ 復号処理が完了するまで待機します。

号化中 : お待ちください	
復号化中 セクター 1753087 / 20934655 推定残り時間 0h 02m 22s	キャンセル

 ⑨ 復号処理が完了したら「OK」を押してからクライアント PC をシャットダウンして USB の回復ドライブを取り外します。

✔ 成功	
コンピューターが正常に復号化されました	ок
😢 シャットダウン	
コンピューターをシャットダウンできます	シャットダウン

- ・10 ブートマネージャーを起動して、ブート順序を元の状態に変更してクライアント PC を

 再起動します。
- 11 この時点で、プリブート認証画面が表示されなくなります。

4 付録

4.1 オフラインライセンスの登録

ここでは、EPO にオフラインライセンスを登録する手順を説明します。EPO に登録する オフラインライセンスは、EBA または EPH で作成します。EPO に登録するためのオフラ インライセンスの作成には、登録先の EPO のサーバートークンが必要になります。ここで は、例として EBA を使用した場合の手順を記載します。

■サーバートークンの確認

EPO の Web コンソールで、[詳細]-[ライセンス管理]-[アクション]-[ライセンスの追加]をクリックします。



② [オフラインライセンスファイル]にチェックを入れ、サーバートークンを確認します。

GET PROTECT		Dv	カメッカリト・カッ	のヘルプマー		
85 天地されたファイル 日 勝外	ライセンスの追加 XのオプションのバリTubを使用して、フイセンスを追加できます。 ○ EST Mainers Acount(2):は#SIT MCP留逆者 ○ 最高数型イー		×	s][97-	7	Utera O
▲	 >>>+2>+2>+2> >+1>> >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>			그 File Security	LYN UJILYN	512229
向 単前のレープテンプレー ト 	オフラインライセンスファイル ファイルの連択 ファイルが遅沢されていません			File Security 23	347/w	NFR ESTAZ
0 0 7/22788	7970-F 🔺					
出了4月春 1535月						
サーバー サーバー 8度 アウティビティ 5番						
© ₩D& 70%	5-72>201200 €+7>201					

■オフラインライセンスの作成

③ 下記の ESET 製品 Q&A ページを参考に、オフラインライセンスを作成してダウンロー ドします(Step1 の ESET Business Account の場合の手順 3 まで実施してください)。

オフラインライセンスファイルのダウンロード方法 (https://eset-support.canonits.jp/faq/show/4327?site_domain=business)

④ Step1 の ESET Business Account の場合の手順4で、「アクティベーションで使用する場合」)を参照します。「ESET PROTECT による管理を許可」にチェックを入れて、「②」で確認した「サーバートークン」を入力して、[生成]をクリックします。

	ライセンス	8513	四份有	状泥	コニット	サブ単位	
		85	オフラインファイルの作成	×	28		
		ES ES	N6		98 15	0/30	14
		ES	ESET Full Disk Encryption		C (V2	0/30	
		55	サイト名 elde		ô 6/25		
-		85			E 2/25		
-		ES	単位款 1	/19	C 0/2	0/30	
		-85	ユーザー名とバスワード		22/25		
			国本れる場合。 Extr9→バーから無称できます ExtF PROTECT 図 1 ^p tr PROTECTによる管理を許可 ExtF PROTECTトークン	#v>t21			

⑤ ライセンスの詳細表示画面から、生成されたオフラインライセンスを選択して[ダウン ロード]をクリックして、オフラインライセンスファイルをダウンロードします。

(88	BUSINESS ACC	JUN	л						0 ~17×	A 388.84 E	3 + 25 MIN
==			~ #8	-	the second couple	- オフラインファイル	創品 すべて	のオフラインライセンスファイ	il		
		i	6.0		941-6	825		9415	all w P	9774Q	۲
C)		0	868								
8		9	アクティブ化されたデバ イス				-				
		×	7757277 <i>4</i> 2		101	TST FUT DSF IROUPDER		主 ダウンロード ※ 新聞			
				074 1 7775	82 *						

■オフラインライセンスの追加

⑥ EPO の Web コンソールのサーバートークンを確認した画面で、[ファイルの選択]をクリックして、「⑤」でダウンロードしたオフラインライセンスファイルを選択します。

(0561)	PROTECT	and the second sec	ALLANDOR ON ALT & ADMINISTRATOR E 02701-
		・・・ ・・・ ・・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	X 7/25/14/ 0 15/25/14/ 9/23/14/ 0/25/20 Robury 20/14 (M) (2020)
		9/12/2008 #F/OL	

⑦ オフラインライセンスファイルを選択した状態で、[アップロード]をクリックします。

-			・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
•	865 8660627404 541 849	ライセンスの追加 約0月プレコンのいず()が考測的して、フイセンス考測ができます。 - 5月 Names (const)を見ついていが確認 - 5月 Names (const)を見ついていが確認	X yutaha 3
A		0 #79K294120,27%0	1
1 25	- 2742-92-9-	54452794Bh-05 0	lie Security
ш Б	**************************************	425455946522246	The Security 2347/re NUT 20276.4
e	54824		
0	5-12228tt	2920-K	
- R	20824		
- >	2-5 69.97		
	1012		
	RIER		
	19-18-		
	サーバー設定		
	707+67+68		
	-	5/12220000 \$472022	,
	EI #US	5V 7	

 ⑧ [アップロード]横のマークが変わりアップロードが完了したら、[ライセンスの追加]を クリックします。

(BBB) PR	ROTECT	Ge 31	1-1-1-2 Advantings	NJJ7 = A ADMINISTRATOR	G COPON
	a: 豊富のたシングム 動 たり たり たり たり たり たり たり たり たり たり	ライセンスの高加 かだりからのVFが使き取りて、ライセンスを放在できて、 日日 Faves Audit 21101 100118 の成正は- の (275-0544-05.05) クインスシスティム。 クリンスンティム。 クリンスンティム。	×	alanty 2000	0 51120100 51120249 8 MR ESSAR
6 6 77 	37024 3403400 2403400 2403 2403 2403 2403				